

田原市立野田中学校



< 10月19日 >

6月に指導者の足立泰敏先生（元形原中学校長）をお招きして、「マジシャンの夢」という読み物資料をもとに、道徳の模範授業をしていただきました。足立先生による、3回目のご指導になります。今までに、若手教員を中心にして以下のような道徳のいろはを教えていただきました。

- ・ みんなちがって、みんなが先生という気持ちや本音で語り合う授業を目指す。
- ・ 道徳の授業は、自己を見つめ、道徳的価値を自覚し、実践的意欲を高める場である。
- ・ 自己を見つめる時間を多くとる。
- ・ その子なりの考え方・価値観を引き出す。
- ・ 「そうか」「なるほどね」「そうだね」と生徒の意見を受け止める姿勢が大切。
- ・ 「ここを聞きたい」「教えてほしい」と、内容を深める発言に高める。
- ・ 3種類の座席表をつくり、生徒のとらえをつなげることで生徒の道徳性を明確にする。（アンケート・生活記録・作文から）

本校で模範授業をするために、足立先生は、2年A組の生徒の生活記録や作文を時間をかけて読み、3種類の座席表をつくっていただきました。授業での発言の約束事を生徒に身につけさせたうえで、模範授業をしていただきました。

足立先生の教えをもとに、本校の若手教員が道徳の研究授業を実践しました。「みんなが違って、みんなが先生」の教えを大切にし、意見をつなげる手法として、挙手する際に「そのことで」と声を出しながら手を挙げさせることにより、活発な意見交換が行われ道徳の授業が楽しく感じられるようになりました。